

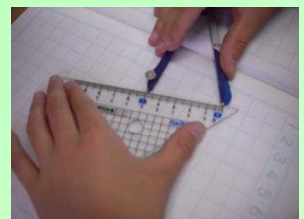
Q：コンパスの使い方が上手いかず正しく円をかけない児童が多くいます。コンパスの使い方を定着させるためにはどうしたらよいでしょうか。【3年】

A：コンパスについては、円をかいたり長さをはかりとったりする操作を通して、その有用性を感じられるような活動を仕組んでいきたいものです。

そして、円をかくための道具としてその操作の仕方を正しく指導し、それを活用することで、円をかく技能の定着を図っていきます。また、もう一つの長さをはかりとる道具としての一面も、活動を通してそのよさに気付いていけるようにしていきたいと考えます。

児童にとって、コンパスで円をかく作業は難しいので、次の手順を確認しながら、練習させていきましょう。

1. コンパスを閉じたとき、両端の先端が合っていることを確認します。
2. 定規で半径の長さを決めて、その長さに合わせて、コンパスを開きます。
3. 円の中心を決めて、針を立ててしっかり紙に刺します。
4. 親指と人差し指で、コンパスの上部のつまみを軽く持ちます。足にはさわらないように注意します。
5. 鉛筆の方を紙におろすします。おろす位置は右利きの子は時計でいう「4時のあたり」、左利きの子は「8時のあたり」です。
6. コンパスを右利きは時計回り（左利きは反時計回り）に倒しながら、くるりとまわし円をかきます。このとき、指をねじる感じで、持ち手を回します。



※ ノートに書くときは、下敷きを外すこと。また、コンパスのネジがゆるんでいないことを確認します。

コンパスを使う練習のために、いろいろな円が交じり合う模様をかかせるのは効果的です。その中で、針を刺す位置を考えて円の中心をみつけたり、半径の大きさを考えたりすることになり、円に関する知識が身に付いていきます。

また、実際にたくさん円をかくことで、コンパスを使う技能も身につけることができます。

また、コンパスもいろいろなものがありますので、できれば初めて使う場合は同一の物を購入して、指導するのがいいでしょう。

